

静岡エンジニアリング・サービス株式会社

第10期 (平成21年4月1日～平成22年3月31日)

貸借対照表及び損益計算書

貸借対照表 P2

損益計算書 P3

個別注記表 P4

貸借対照表

(平成22年3月31日現在)

(単位：千円)

資 産 の 部		負債及び純資産の部	
< 流動資産 >	< 40,342 >	< 流動負債 >	< 8,615 >
現金及び預金	17,235	買掛金	5,801
受取手形	500	未払金	429
売掛金	16,079	未払費用	275
仕掛品	6,587	未払法人税等	989
前払費用	71	未払消費税等	549
貸倒引当金	△ 132	預り金	134
		賞与引当金	435
< 固定資産 >	< 691 >	《 負債合計 》	《 8,615 》
〔有形固定資産〕	〔 691 〕	< 株主資本 >	< 32,417 >
工具器具備品	691	[資本金]	[20,000]
		[利益剰余金]	[12,417]
		(利益準備金)	(30)
		(その他利益剰余金)	(12,387)
		繰越利益剰余金	12,387
		《 純資産合計 》	《 32,417 》
資産合計	41,033	負債及び純資産合計	41,033

損益計算書

(平成21年4月1日から
平成22年3月31日まで)

(単位：千円)

売上高		67,821
売上原価		47,727
売上総利益		20,094
販売費及び一般管理費		18,712
営業利益		1,381
営業外収益		14
受取利息	4	
その他の営業外収益	9	
営業外費用		0
その他の営業外費用	0	
経常利益		1,395
特別利益		12
貸倒引当金戻入額	12	
税引前当期純利益		1,408
法人税、住民税及び事業税		1,154
当期純利益		254

個別注記表

1 重要な会計方針に係る事項

- (1) 資産の評価基準及び評価方法
仕掛品・・・個別法による原価法
- (2) 固定資産の減価償却の方法
有形固定資産・・・法人税法の規定による定率法
- (3) 引当金の計上基準
 - ①貸倒引当金
債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率を基に、今後の回収可能性を勘案した率により貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。
 - ②賞与引当金
従業員の賞与支給に備えるため、当事業年度に負担すべき支給見込額を計上しております。
 - ③役員賞与引当金
取締役の賞与支給に備えるため、当事業年度に負担すべき支給見込額を計上しております。
なお、当事業年度に計上すべき金額はありません。
- (4) 売上高及び売上原価の計上基準
包装機械については、当事業年度末までの進捗部分について成果の確実性が認められる契約については工事進行基準を、その他の契約については工事完成基準を採用しております。
- (5) 消費税の会計処理
税抜方式によっております。

2 重要な会計方針の変更

「工事契約に関する会計基準」等の適用

当事業年度より「工事契約に関する会計基準」（企業会計基準第15号 平成19年12月27日）及び「工事契約に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第18号 平成19年12月27日）を適用し、産業機械等について当事業年度に着手した契約から当事業年度末までの進捗部分について、成果の確実性が認められる契約については工事進行基準を、その他の契約については工事完成基準を適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

3 その他の注記

記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。